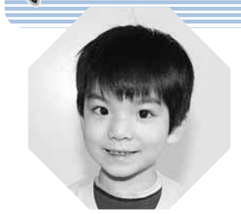
# みんなのスペース



かねざき ひかる くん
（船越保育園・５歳）

## ぼくのゆめ

大きくなったら救命救急士になりたいな。急な病気やけがで困っている人を助けてあげるんだ。

## 投書

どんなことでも結構です。どしどしお寄せください。

### 山田よいとこ好きな町（九）

（続、千体仏）

一方、目を転ずれば眼下に茫々（ぼうぼう）たる太平洋の大海原が果てしなく広がり、まさに日本最東端三陸海岸の雄大な眺めに浸ることができた。それは迷える者の心さえも清々しくする自然からの贈り物。神仏へお参りすることによって贈る心の救いでもあろうか。

金沢について思い巡らしていたら、ふと大槌の人と言われるあの金売り吉次のことが思い浮かんだ。彼は平泉藤原秀衡のころ、金沢の産金や当時の岩手の品々を駿馬の背に積み、平泉に寄ってから北陸路を京都へ売りに行っていたのだろう。そして義経を秀衡のもとに連れてくることになる。

そんなことを考えていたら、リーダーが「そろそろ帰りましょう」と下山を告げた。この千体仏山はかなりの急坂で、登りより下りが大変、滑るようにして下り、途中でちょっと一休みしていたら、すぐ近くの向かいの山に大きな青鹿（カモシカ）が一匹、のそのそと現れ、ちょこんと立ち止まって私をつくづく眺めながら変なやつが居るなと言わんばかりに首かしげて、なかなか動こうとしない。だがやがてにらめっこしていた私から目をそらし、ゆっくり山奥のどこともなく立ち消えていった。私はその後姿をいつまでも追いながら、つい思わず頬（ほお）に笑みを浮かべていた。この後、時々あの時のことを思い出しては、「あの一期一会のカモシカ、今も達者でいるかなあ」と思うようになった。自然にも恵まれた古里わが山田、思いよらずして野生にも巡り合える幸せがある。

ペンネーム・山田北州
（山田・85歳）

### お座敷広場の運営者に感謝

7月10日午前11時より、船越地区お座敷広場が民生児童委員主催で多彩に行われた。その日、70歳以上の出席者は50名余りだったが、日ごろ出会うことが少ないためか、公民館内は会話が弾んでとても好感が持てた。七夕の時期でもあり、ホールには大きな笹に華やかな短冊が飾られ、その日のイベントに雰囲気を添えてくれた。心づくしの昼食で舌鼓を打った後、アトラクションでは持ち前の歌、踊りなどが披露され、ホールは割れんばかりに盛り上がり、観衆の皆が久し振りで至福のひとときを味わったに違いない。私たち地区民は毎年このイベントに配慮いただいている民生児童委員やスタッフの皆さんに感謝するとともに、またとない意義深い触れ合いの場だった。これを励みに残る人生を楽しみながら生きていきたいものと思っている。

齋藤忠雄（船越・81歳）

### のんびり会の総会を終えて

昨年の定期総会で、「山田には統合失調症者が161名いるよ。のんびり会会員は8名で、その組織率は5％です」と報告がありました。今年3月15日、山田町障害者計画策定委員会で報告されたのは171名。1年で10名に増えて驚いていたのに、今年の定期総会での宮古保健所の保健師の話によると、山田には統合失調症者は200名いるとのこと。この話に驚かないで何に驚くでしょうか。啓蒙（けいもう）・啓発とよく耳にしますけど、町民に早期発見、早期治療、発病予防を強力に呼び掛けてほしい。

病気は一生涯であり、町民の皆さまの病気（人）は急増しています。どうか統合失調症者にならないように、朝に夕に隣近所での声の掛け合いをお願いするとともに、町民、会員の皆さまの健康を祈っています。

のんびり会会長　藤原茂美

## イラスト

### 昔聞いたせみ時雨懐かしく

お盆の月になると子供のころが懐かしくなる。母とお盆市やお墓参り、吉祥寺（吉里吉里）参りをすると、寺山からセミの声が聞こえた。母の話では、セミは土の中で六年、世の中に出て十日ぐらいの短い命をもらっているので、「おらぁ節ぁいまだー、おらぁ節ぁきたーって鳴くんだーど」と教えられた。

炎天下に吉祥寺境内を包み鳴くせみ時雨、あの風情は子供心を満たしてくれた。近年、セミが少なくなり、子供のころのせみ時雨を聞くことはない。暦をめくりながら幼心になったりと、日々老いと向き合っている。

菊地サカヱ（織笠・72歳）

◇　◇　◇

**紫の雫したたるアジサイの**
**雨の明日（あした）に咲き競いおり**

菊地孝進（船越・85歳）

**隙あれば足腹背中乗りまわし**
**爺（じい）と戯るめんこい男孫（まご）よ**

大川ヒメ子（大沢・63歳）

**孫達が**
**ブルーインパルス見られずに**
**我が家の台風静かに帰る**

大町テイ子（大沢・？歳）

## アンドリューさんが帰国

7月21日に開かれたアンドリューさんの送別会でのもちつき体験の様子

山田高校で外国語指導助手を務めたカナダ出身のアンドリュー・ボンベリさんが、7月31日をもって2年間の勤務を終えました。アンドリューさんからメッセージが届いていますので紹介します。

みなさん、このにねんかん、このまちにわたしをうけいれてくれてありがとうございました。もうすぐわたしはカナダにかえります。

ひとがやまだについてたずねるとき、わたしはこのようにこたえるでしょう。山田はわたしがしるなかでもっともうつくしいところだと。山田にはやまがあり、うみがちかくにみえる。いたるところにきがみえる。そして、ひとびとはこころやさしく、かんだいであると。ありがとう、山田。にねんかんたのしかった。

Andrew Bombery
アンドル　ボンベリ

## 8月は「電気使用安全月間」

8月は電気使用安全月間です。例年7月から9月までの3カ月間は、暑さによる疲労で注意力が散漫になりがちなところへ肌の露出が多くなり、さらに発汗により電気が流れやすくなるなどの悪条件が重なるため、感電事故が多くなります。コンセントを抜くときはぬれた手で触れないようにするなど、感電事故に十分注意しましょう。

◆問い合わせ　財団法人東北電気保安協会宮古事業所（☎63－1332）へどうぞ。